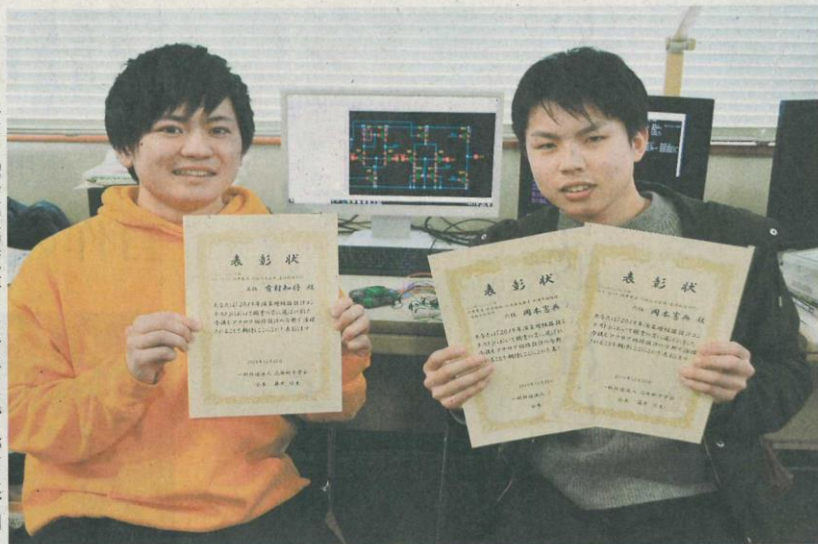


競い励まし ともに入賞

電子回路図の設計技術を競うコンテストで、有明高専(大牟田市)に通う有村知将さん(21)＝荒尾市＝と岡本憲典さん(21)＝熊本市西区＝が入賞を果たした。高専生の入賞は2人のみで、同校生の入賞は6年ぶり。

大学教授らでつくる応用 2019年度「演算増幅器科学学会(横浜市)主催の 設計コンテスト」。電子回

電子回路図の設計コンテスト



2019年度の「演算増幅器設計コンテスト」で入賞した有明高専の有村知将さん(左)と岡本憲典さん。中央のパソコン画面は設計した電子回路＝大牟田市

有明高専で6年ぶり 有村さん(荒尾市)、岡本さん(熊本市)

路技術者の育成を目的に毎年開催している。

生産情報システム工学専攻1年の2人が入賞したのは、設計した回路の消費電力や出力抵抗などをプログラム上で評価し、そのスコアを競う「シミュレーションの部」。評価項目ごとに4部門に分かれており、全国の大学生・院生ら63人が参加した。昨年秋季に専用のソフトで応募。12月に東工大(東京)で表彰式があった。有村さんが1部門で5位、岡本さんが2部門で6位だった。

初めて回路設計に挑戦した2人は、夏休みにインターンシップ(約2週間)に行ったIT企業で基礎を習得。その後も夏休みのほとんどを研究室にこもり、それぞれが設計した回路を比較するなど、切磋琢磨しながら設計に取り組んだ。

「大変だったけど結果が残せて良かった」と有村さん。「思い通りに回路が動くことがうれしい。次回はさらに上位を目指したい」と岡本さん。2人は「実際に回路を作る『試作の部』にも挑戦したい」と意気込んでいる。(長濱星悟)